

亀居遺跡第53地点
集石



本村遺跡第94地点



東台遺跡第33地点
掘立柱建物跡



例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の2000年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理作業は、国庫(3,900,000円)、県費(1,950,000円)の補助金の交付を受け、平成12年4月3日から平成13年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者 大井町教育委員会	文化財保護係長	坪田幹男
担当課 生涯学習課文化財保護係	文化財保護係・庶務	高橋偕子
教育長 遠藤正明	文化財保護係・発掘調査担当者	高崎直成・鍋島直久
教育次長 池本敏雄	大井町臨時職員・発掘調査担当者	土本医
生涯学習課長 金子忠弘		
4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
 執筆：縄文土器 今井堯、本文・遺構 高崎直成 土器拓影：石垣ゆき子、丹治つや子、福島雅子、山口妙子
 土器・陶磁器実測：青山奈保美、石垣ゆき子、伊藤弘一、丹治つや子、福島雅子、山口妙子 石器実測：青山奈保美
 土器復元：中田藤子 トレース：青山奈保美、小林登喜江、須藤さち子、表作成：植田勢津子
 図版作成：青山奈保美、植田勢津子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子
 遺構写真：高崎直成・土本医・坪田幹男・鍋島直久 遺物写真：高崎直成
 また、整理作業のなかで日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)
 会田明、浅野晴樹、穴澤義功、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、市丸靖子、上田寛、内田賢司、岡田賢治、加藤秀之、梶原勝、
 梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、桜井信枝、笹森健一、佐藤啓子、島田一郎、
 高橋京子、田中信、中島宏、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、
 柳沢健司、和田晋治
 埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、
 (有)文化財COM
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、本村遺跡第86地点および東台遺跡第33地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。
 〈発掘調査参加者〉(敬称略)
 新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、金丸文男、
 小林こずい、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、
 中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、三村美代子、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代
 (富士見市教育委員会) 飯田久子、泉邦子、上田寛、黒田千恵子、佐々木真理子、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、
 戸田美根子、中路子、名久井よし江、羽田美代子、深野サイ子、吉田信江、若槻たか、渡辺日出男
 〈整理作業参加者〉(敬称略)
 青山奈保美、石垣ゆき子、石原聡、伊藤弘一、植田勢津子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、
 中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として
 遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
 土器実測図 1 : 3、1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。
 攪乱  地山(ローム)  焼土 
 土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○
 - (4) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
 - (5) 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

No.	遺跡・地点名	申請地	調査 面積(m ²)	開発 面積(m ²)	原因	試掘期間	調査措置
						本調査期間	
39	本村遺跡第90地点	大井・苗間93-2街区4・5画地	540	1,340	店舗	12. 8.31～12. 9.22	試掘
40	本村遺跡第91地点	大井・苗間130街区2画地	37	142	個人住宅	12. 9.25～12. 9.27	試掘
41	本村遺跡第92地点	大井・苗間129街区9画地	25	100	個人住宅	12.10.10	試掘
42	本村遺跡第93地点	大井・苗間85街区9画地	97	283	社員寮	13. 2.16～13. 2.21	試掘
43	本村遺跡第94地点	大井・苗間89街区6画地	87	192	個人住宅	13. 2.17～13. 2.19 13. 2.20～13. 3. 6	教育委員会で 本調査
44	本村遺跡第95地点	大井・苗間93-2街区10画地	41	108	個人住宅	13. 3. 6～13. 3. 9	試掘
45	東台遺跡第32地点	東台603-1	50	92	製茶工場	12. 8. 4～12. 8. 9	試掘
46	東台遺跡第33地点	東台662-1	411	7,076	分譲住宅	12. 8. 4～12. 8. 8 12. 8.10～13. 1.25	試掘後遺跡調 査会で本調査
面積合計			11,440	39,279			

第3表 2000年度大井町遺跡調査会による埋蔵文化財調査一覧表

No.	遺跡名	申請地	調査面積(m ²)	原因	調査期間
1	江川南遺跡第15地点	東久保2街区1画地	2,375	共同住宅	13. 1.10～13. 1.19
2	東久保遺跡第27地点	東久保26街区	300	調整池(区画整理)	12. 5.17～12. 6. 8
3	東久保遺跡第30地点	東久保294番2	48	下水道築造(区画整理)	12. 7. 4
4	東久保遺跡第32地点	東久保277番	632	道路築造(区画整理)	12. 7.12～12. 8. 3
5	東久保遺跡第38地点	東久保284-1,285-1	501	道路築造(区画整理)	12.12.13～12.12.15
6	東久保遺跡第40地点	東久保270-3,270-4	128	道路築造(区画整理)	13. 3.23
7	東久保南遺跡第22地点	東久保60街区1画地	2,703	中古車展示場	13. 2.14～13. 2.25
8	西ノ原遺跡第119地点	大井・苗間18街区4画地	221	倉庫建設	12.11.15～12.12. 5
9	本村遺跡第86地点	大井・苗間86街区1～5	5,745	公衆浴場	12. 5.15～12. 6.28
10	東台遺跡第33地点	東台662-1	7,076	分譲住宅	12. 8.10～13. 1.24
調査面積合計			19,729		
東久保区画整理事業に伴う発掘調査面積合計			1,609		
第2表に掲載した地点を除いた調査面積合計			18,120		

第4表 その他の立会い調査一覧表

No.	遺跡名	申請地	調査面積(m ²)	原因	処置
1	東久保遺跡	東久保31街区15画地	330	個人住宅	範囲外
2	東久保遺跡	東久保14街区14画地	130	個人住宅	盛土のため調査不可
3	東久保西遺跡	東久保12街区8画地	958	店舗	工事立会い
4	東久保遺跡	東久保15街区10・11画地	115	個人住宅	工事立会い
5	東久保遺跡	東久保31街区2画地	100	個人住宅	工事立会い
6	西ノ原遺跡	大井・苗間12街区4・5画地	94	長屋	工事立会い
7	本村遺跡	大井・苗間88街区1画地	327	砂利敷駐車場	工事立会い
8	苗間東久保遺跡	苗間587-5	134	個人住宅	57条の2
9	東久保南遺跡	東久保60街区6画地	466	砂利敷駐車場	11年度試掘済み
10	本村遺跡縁辺	大井・苗間129街区	110	個人住宅	遺跡範囲外で未調査
11	亀居遺跡縁辺	鶴ヶ岡2-27-2	1,146	共同住宅	遺跡範囲外で未調査
12	浄禅寺跡遺跡	苗間511-17	81	個人住宅	工事立会い
13	鶴ヶ岡遺跡	鶴ヶ岡3-2-1	79	下水道工事	工事立会い

XIV 本村遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

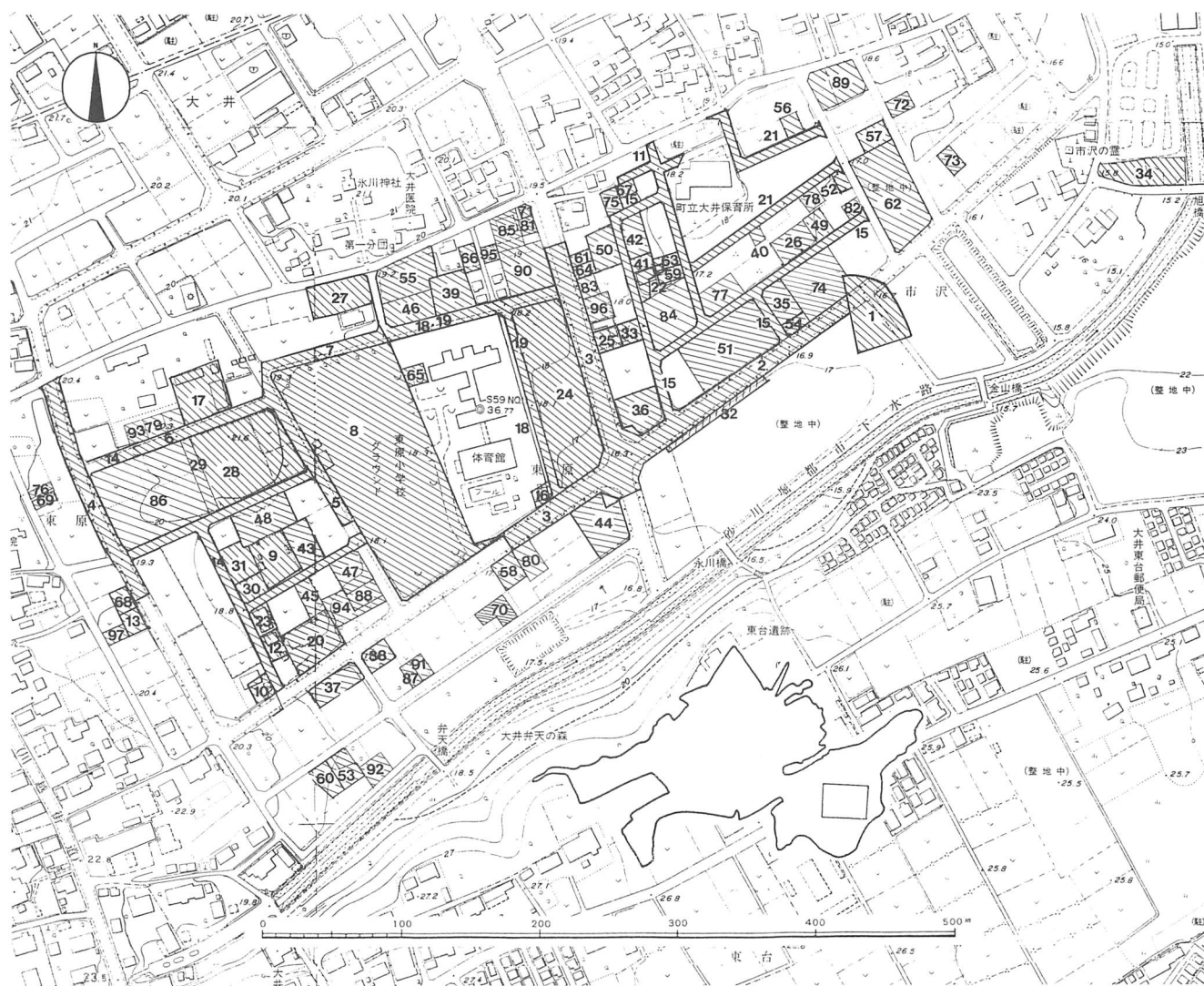
本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。町内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることができる。

いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2001年12月現在97ヶ所で調査し、旧石器時代の礫群、石器ブロック、縄文時代の落し穴、炉穴、中世～近世の掘建柱建物・方形堅穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式塋・茶毘跡等を多数検出している。



第79図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

10 本村遺跡第94地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅の建設に伴うもので、原因者より2001年2月2日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置するため申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するための試掘調査を実施した。

調査は2月17日から幅約2mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った結果、調査区の中央から北東にかけては水成堆積の黒色土、南西部のローム地山には遺構を確認したため本調査を行うことになった。

本調査は2月20日から遺構確認部分を重機で拡張し、人力で遺構プランを確認後、遺構を掘り下げた。調査の結果検出した遺構は中世（溝6条、土坑1基、ピット7基）近世（溝4条）である。写真撮影・遺構測量等記録保存を行い、重機で埋め戻し、3月6日に調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

旧河川の自然流水路が調査区の東側にあり、自然堆積土中から縄文時代、古墳時代初頭、五領期の土師器破片や9世紀代の須恵器坏、中世の陶磁器等を検出した。中世の溝は旧河川と直交し、河川へ流れ込む様に作られていた。近世の溝は河川が埋没してから旧河川と平行して作られており、旧河川が中世までに埋没して行った事が確認できた。

①溝

【溝1】調査区中央やや南側に北東方向に位置する。検出した長さは調査区西壁から北東方向に5.8m延び、旧河川と直交する。中流域で溝11と分岐する。上幅は125～175cm、下幅46～103cm、深さ29～47cmを測る。断面形態は立ちあがりの緩やかな皿状である。溝2～5・11と重なる。溝2～4より新しく、溝5より古い。溝5が埋没した後再び溝1が掘り直され、最後まで存続していた。溝11とは、緩やかに分岐している点や、土層堆積で溝11との新旧関係を確認できない点等から、同時期に機能していたと思われる。

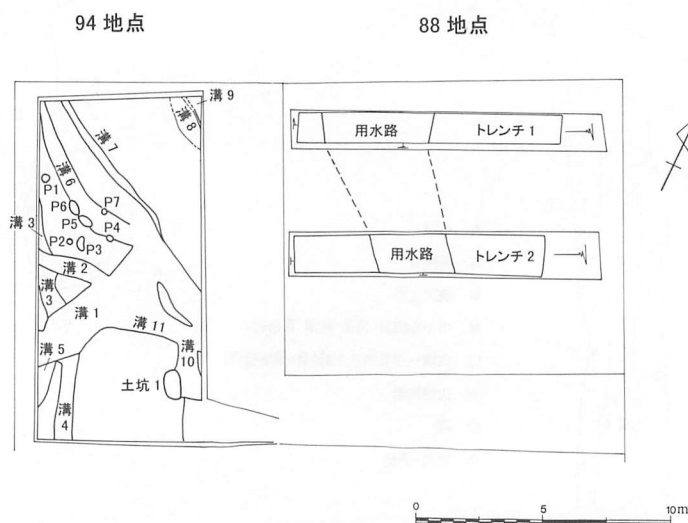
出土遺物から時期は中世。

【溝2】調査区中央に東西方向に位置する。検出した長さは調査区西壁から東方向に3.2m延び、溝1と直交する。上幅は72～97cm、下幅15～22cm、深さ22～34cmを測る。断面形態は浅い「U」字形で、北側が緩やかに立ちあがる。溝1・3と重なり、最も古い。溝2の延長線上に溝11がある。

出土遺物は無いが溝1との関係から時期は中世。

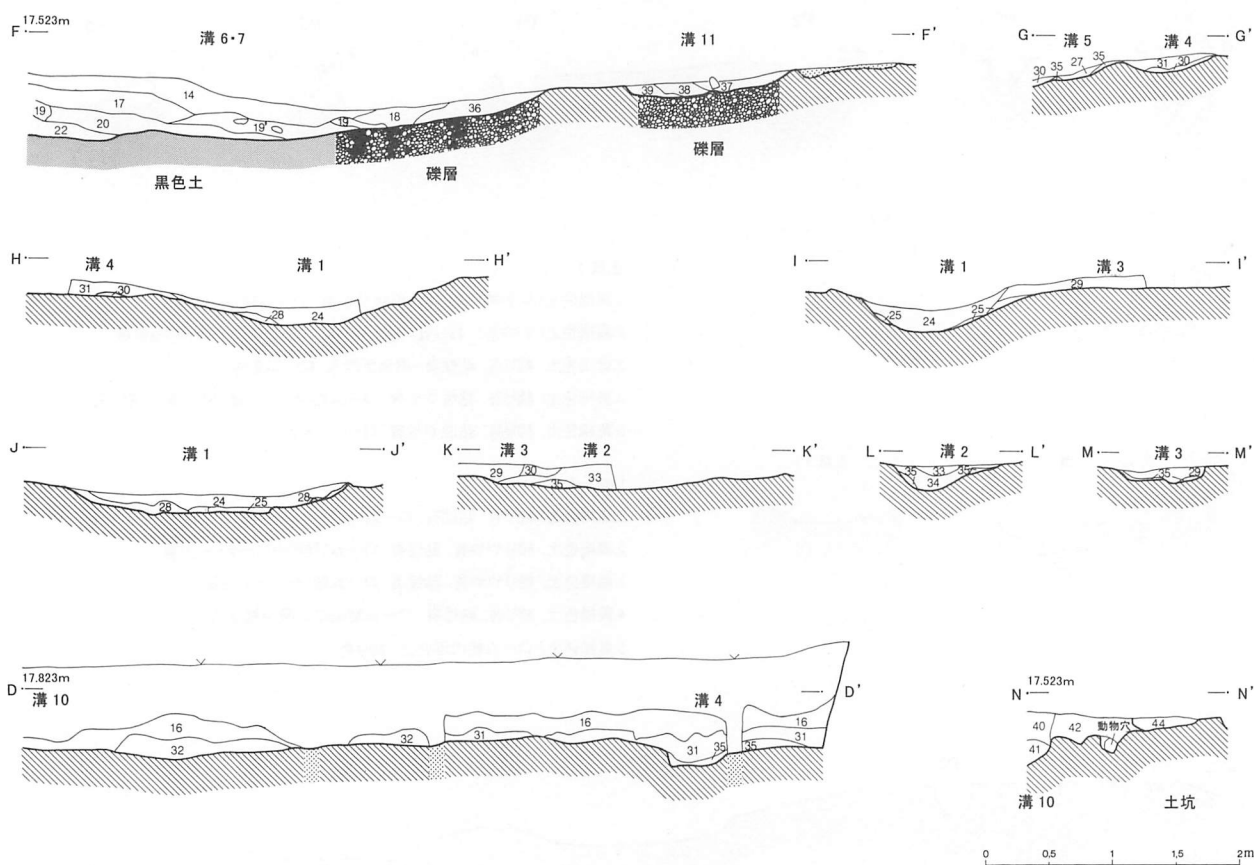
【溝3】調査区中央に南北方向に位置する。検出した長さは調査区西壁から南東方向に4.0m延び、溝1と直交する。上幅は73～100cm、下幅52～90cm、深さ10～13cmを測る。断面形態は浅い逆台形である。溝1・2と重なり、溝1より古く、溝2より新しい。溝3の延長線上に溝4があり、堆積土層も似ている。

出土遺物は板碑破片だけだが、溝1との関係から時期は中世。



第93図 本村遺跡第94地点遺構配置図 (1/300)





- 1.黒褐色土。締り無。耕作土
- 1'.暗褐色土。締り無。耕作土
- 2.黒褐色土。締り無。レンズ状に堆積。砂利少量
- 3.暗褐色土。締り有。粘性やや有。砂利少量。ローム粒(1mm)少量
- 3'.水路堆積。砂利多量
- 4.暗褐色土。締り有。ローム粒(1~2mm)少量。土の粒子細かくサラサラする。水成堆積
- 5.黒褐色土。締り有。粘性有。ローム粒(1mm)少量。砂利極少量。土の粒子細かい。水成堆積
- 6.黒褐色土。締り無。砂利極多量。礫多量
- 7.暗褐色土。締り有。粘性やや有。ローム粒(1~3mm)少量。斑状の酸化物極少量。溝7
- 8.暗褐色土。7層より色が黒い。7層の方がややサラサラする。溝6
- 9.暗褐色土。締り弱。粘性やや有。ローム粒(1mm)極少量。砂利少量。溝6
- 10.砂利主体層。締り無。若干黒色土が入る。溝8・9
- 11.黒褐色土。締り有。砂利少量。3'と12層の漸移層
- 12.砂利と黒色土の混合層。締り無
- 13.暗褐色土。締り有。粘性有。ローム粒(1mm)少量。砂利少量
- 13'.13層の砂利少なくなる
- 14.黒褐色土。締り有。粘性無。酸化物が斑状に混入。砂利極少量。ややサクサクする。水成堆積
- 14'.茶褐色土。14層に砂質粒子加わる
- 15.暗褐色土。酸化粒子(1~5mm)極多量。土の粒子細かい。水成堆積
- 16.暗褐色土。締りやや有。ローム粒(1~2mm)少量。中世の遺物包含層
- 17.黒褐色土。締り有。粘性有。砂利(小)少量。斑状の酸化物少量
- 18.暗褐色土。締り有。ややサクサクする。ローム粒(1~3mm)多量。砂利・礫少量
- 18'.黒褐色土。締り弱。粘性無。サクサクする。砂利・ローム粒(1mm)少量。水成堆積
- 19.茶褐色土。締り弱。粘性無。サクサクする。酸化物主体。水成堆積
- 19'.茶褐色土。19層に砂利・礫多量に加わる

- 20.砂利主体層。脆いが硬い。一時の河川床
- 21.黒褐色土。締り有。粘性弱。斑状(1cm大)の酸化物が入る。砂利少量。17層と似るが粘性が弱い
- 22.黒褐色土。締り有。粘性有。砂利・礫少量
- 23.黒褐色土。締り有。粘性やや有。ローム粒(1~3mm)少量。18層よりやや黒い
- 24.黒褐色土。締りやや有。粘性無。ローム粒(1~3mm)多量。礫・砂利少量。溝1
- 25.黒褐色土。締り有。粘性やや有。ロームブロック(1cm大)・礫・砂利多量。溝1
- 26.黒褐色土。締り有。粘性有。ローム粒(1~5mm)極多量。礫少量。溝5
- 27.黒色土。締り有。粘性無。ローム粒(1~3mm)少量。溝5
- 28.黄褐色土。締り無。礫層のロームと黒褐色土の混合土。溝1
- 29.黒褐色土。締り有。硬い。粘性やや有。ローム粒(1~5mm)多量。ロームブロック(1cm大)少量。溝3
- 30.黒褐色土。29層に茶褐色ロームブロック(2~3cm大)混入
- 31.黒褐色土。29層のロームブロック多くなる
- 32.黒褐色土。締り有。粘性無。ローム粒(1~5mm)少量
- 33.黒褐色土。締り有。硬い。粘性やや有。ローム粒(1~3mm)少量。溝2
- 34.黒褐色土。33層にロームブロック(2~3cm大)少量混入。溝2
- 35.赤褐色土。赤褐色ローム地山に黒色土少量混入
- 36.黒褐色土。締り有。粘性有。ローム粒(1~3mm)多量
- 37.黒褐色土。締り有。粘性有。ローム粒(1~3mm)多量
- 38.黄褐色土。締り有。粘性有。ローム主体。黒色土混入
- 39.黒褐色土。締り有。粘性有。ロームブロック(1cm大)多量
- 40.暗褐色土。締りやや有。16層より粘性有。ローム粒(1~2mm)少量。溝10
- 41.黒褐色土。締り有。粘性やや有。ローム粒(1~3mm)少量。水成堆積。溝10
- 42.黒褐色土。締り有。粘性有。斑状酸化物多量。21層と似るが粘性は強い
- 43.茶褐色土。締り有。粘性やや有。水成堆積のローム地山
- 44.土坑1の1層

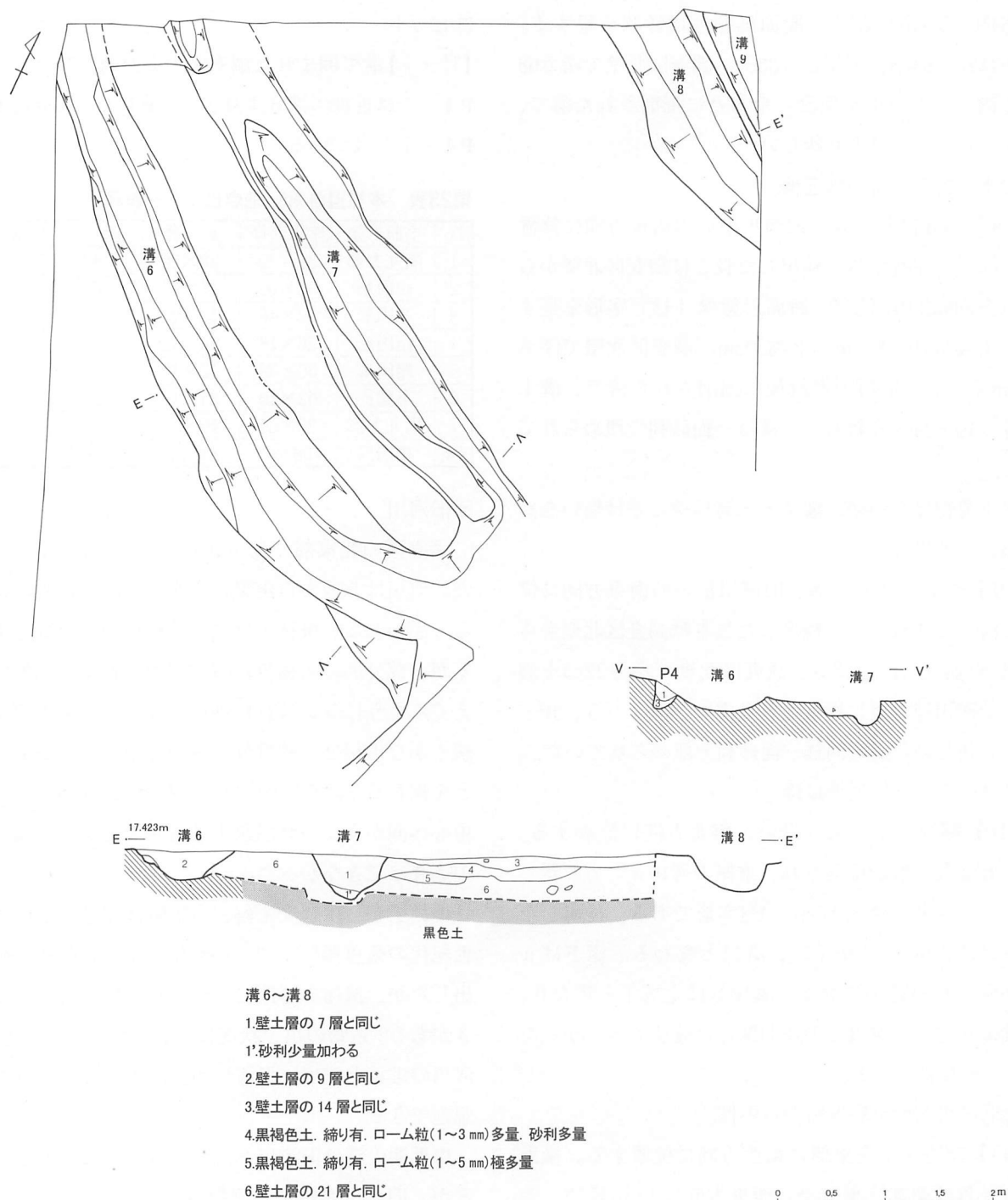
第95図 本村遺跡第94地点溝・土坑土層(1/60)

【溝4】調査区南側に南北方向に位置する。検出した長さは調査区南壁から北方向に3.3m延び、溝1と直交する。上幅は57~74cm、下幅18~30cm、深さ14cmを測る。断面形態は浅い皿状である。溝1より古い。溝4の延長線上に溝3があり、堆積土層も似ているが、溝の方位は若干北に振る。

出土遺物から時期は中世。

【溝5】調査区南側西壁沿いに南北方向に位置する。検出した長さは調査区西壁から北方向に1.7m延び、溝1と直交する。深さ17cmを測る。断面形態は浅い皿状である。溝1の南側が一部埋没した後掘削されるが、溝5が埋没した後再び溝1を開削している。

出土遺物はないが、溝1との関係から時期は中世。



第97図 本村遺跡第94地点溝6~9 (1/60)

【溝6】調査区北側から中央にかけ、旧河川沿いの南東方向に位置する。検出した長さは調査区北壁から南東方向に4.3m延び、弧を描きながら東方向に2.7m延びる。断面形態は掘鉢状を呈する。上幅は50～106cm、下幅18～20cm、調査区北壁で深さ55cmを測る。旧河川が埋没したあとに掘削された溝で、溝1～5、10・11より新しく、溝7よりも古い。

出土遺物から時期は近世。

【溝7】調査区北側から中央にかけ、旧河川沿いの南東方向に位置する。検出した長さは調査区北壁から南東方向に5.4m延びる。断面形態は掘鉢状を呈する。上幅は70～94cm、下幅14～36cm、調査区北壁で深さ68cmを測る。旧河川が埋没したあとに掘削された溝で、溝1～6、10・11より新しい。

出土遺物から時期は近世。

【溝8】調査区北東隅、旧河川沿いの南東方向に位置し、溝9と並行する。検出した長さは調査区北壁から南東方向に2.0m延び、断面形態は「U」字形を呈する。上幅は70～85cm、下幅30cm、調査区北壁で深さ34cmを測る。旧河川埋没後に掘削された溝で、溝1～5、10・11より新しい。溝は一面砂利で埋められていた。

出土遺物はないが、溝7と土層堆積に差は無いため時期は近世以降。

【溝9】調査区北北東隅、旧河川沿いの南東方向に位置し溝8と並行する。検出した長さは調査区北壁から南東方向に0.7m延びる。調査区北壁で深さ22cmを測る。旧河川埋没後に掘削された溝で、溝1～5、10・11より新しい。溝8同様一面砂利で埋められていた。

時期は溝8同様近世以降。

【溝10】調査区南側東壁沿いに南北方向に位置する。a・b2条の溝が掘削され、東側の溝10aの方が新しい。a・b共に断面形態は「U」字形である。検出した長さは北方向に2.3m延び、溝11と交わる。深さはaが39cm、bが35cmを測る。溝10bは土坑1と重なり、土坑より古い。溝11との新旧関係は確認できなかったが、土層は似ている。

時期は東壁の土層堆積から中世。

【溝11】調査区中央東側に東西方向に位置する。検出した長さは調査区東壁から西東方向に2.9m延び、溝1と直交する。上幅は67～142cm、下幅30～74cm、深

さ18～23cmを測る。断面形態は浅い皿状である。溝10a・bとの新旧関係は確認できなかったが、土層は似ている。

出土遺物から時期は中世。

②土坑

【土坑1】調査区南東に位置する。平面形は楕円形、断面は浅い皿状を呈する。上端108×74cm、下端84×48cm、深さ18cmを測る。溝10bと重なり、溝より新しい。

出土遺物はないが、時期は中世以降。

③ピット

【ピット】溝で囲まれた調査区中央西側で7基検出した。P4～7は近世の溝6より古く、P1～3も遺構覆土はP4～7と似ている。

第23表 本村遺跡第94地点ピット一覧表

単位cm

No	平面形態	確認面径	底 径	深 さ	備 考
1	隅丸方形	32×30	22×20	42	
2	楕円形	36×50	14×14	38	
3	楕円形	32×46	12×28	27	
4	楕円形	26×18	16×12	23	
5	楕円形	60×36	12×12	32	
6	不整形	62×40	24×12	33	
7	隅丸方形	20×20	10×14	14	
土坑	楕円形	108×74	84×48	18	

④旧河川

調査区の北東部で長さ10m、幅6.4mに渡り検出した。河川は北西から南東に向かって流れ、砂川に達すると思われる。堆積土は主に暗褐色から黒褐色土であるが、部分的に茶褐色に酸化した砂質土が、黒色土をえぐるようにレンズ状に堆積しており、粒子の細かい緩やかな堆積と、砂質分の多い急激な堆積があったことを伺わせる。河川の岸側には砂礫層が認められるが、中心へ向かうにつれ黒色土堆積が深くなり、礫層までの調査はできなかった。

堆積土からは縄文土器、古墳時代初頭の土師器、9世紀代の須恵器坏、12～15世紀・中世の陶磁器等を検出したが、遺物の時期にかかわらず出土層位にばらつきがある。遺物の出土状況は、上流からの流れ込みや、河川の堆積と流出（氾濫）の繰り返しによる再堆積を想定できる。

中世期の溝は旧河川へ流れ込むように掘削されているが、旧河川埋没後に掘削された溝6・7からは近世遺物が出土しており、近世には河川が埋没している。

⑤出土遺物

(a) 縄文時代遺物

1～3は1号溝、4は6号溝、5は7号溝、6～19は、旧河川水路出土である。土器片は磨滅著しい。

1と2は地文縄文のみの胴部片で2はもろい。3は柄部を欠失する砂岩製の打石斧。4は無文の頸部片。5は地文沈線に凹部をめぐらす。6は頸部に蛇状貼付文をもつ。7と8は地文縄文に貼付隆帯の懸垂文をもつ。9は口縁に斜行沈線列を入れる浅鉢。10と11は細縄文のみの胴片。12と19は地文縄文の底部で12は底面が剥離。13は厚手無文片。14は薄手の胴部。15は浅鉢底部。16は台付土器の脚部。17は弧状沈線と円形刺突をもつ。18は礫岩の礫利用の削器。本地点出土土器片は中期後半と後期前半のものである。

(b) 中世～近世

【溝1出土】(20～22) 20は灰釉陶器の縁釉小皿で16世紀の大窯製品。瀬戸・美濃産。推定口径10.4cm。21は焼き締め陶器の甕胴部破片で、41と胎土・色調が似る渥美産。22は焼き締め陶器の甕胴部破片で常滑産。

【溝3出土】23は緑泥片岩の板碑破片。沈線が2本平行に刻まれる。

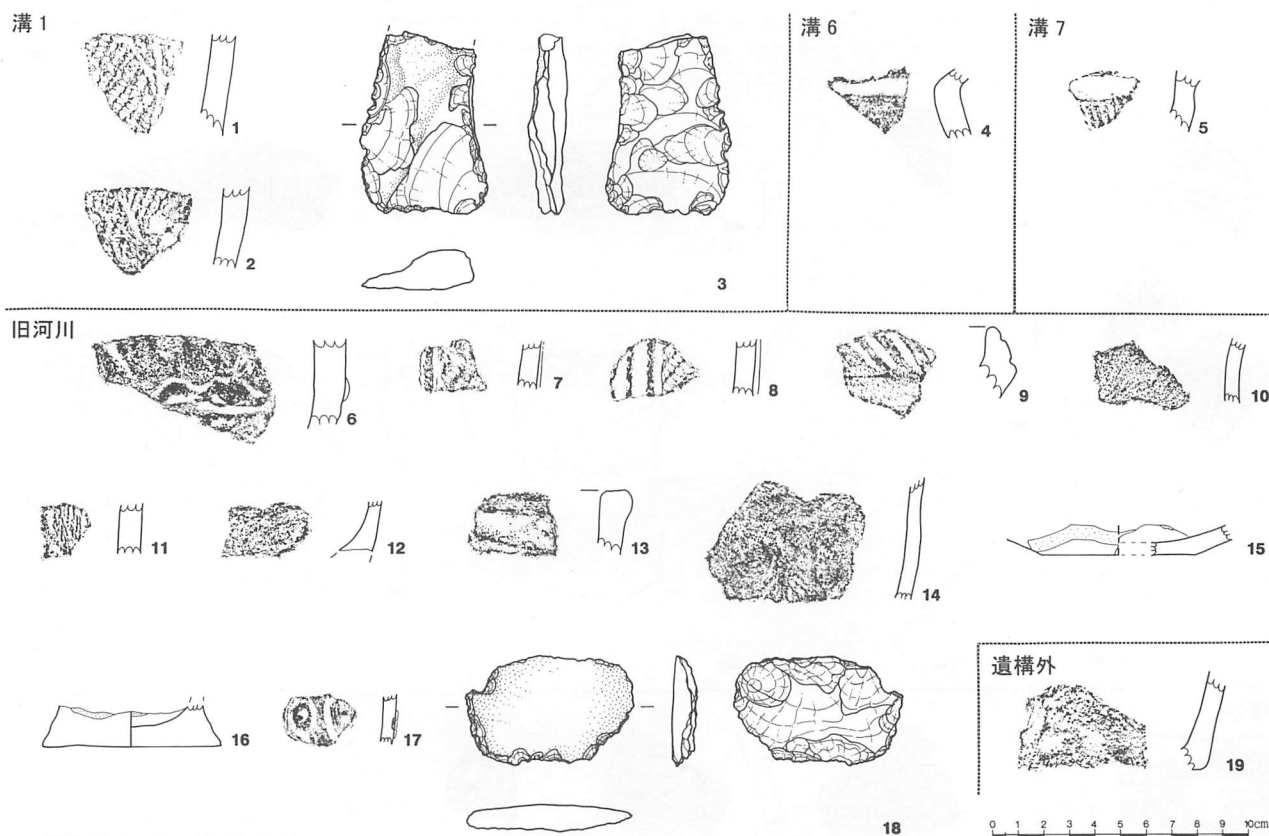
【溝6出土】24は長石釉陶器の志野皿。削り出し高台で、見込みにピントチンの跡がある。17世紀後半の瀬戸・美濃産。

【溝7出土】(25～30) 25～27は土師器台付甕。25は口縁部破片で外面斜位の刷毛目後、内外面とも横なで。26は胴部破片、27は脚部。26・27とも外面は斜位から縦位の刷毛目。内面は篋なでされ、脚部内側は縦位の刷毛目。胎土には砂粒を多量に含む。25～27はいずれも古墳時代初頭、五領期の所産。

28は焼き締め陶器の甕胴部破片。縦長の押印が巡る。29は灰釉陶器碗で18世紀の瀬戸・美濃産。30は近世土師質土器で火鉢の類。

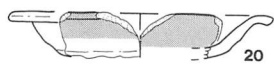
【旧河川埋没土出土】(31～51) 31～39は土師器台付甕。胎土には砂粒を多量に含む。31～33は外面斜位の刷毛目後、内外面とも横なでする口縁部破片。34は内面横位の刷毛目が残る口縁部破片。35～37は頸部破片、38・39は胴部破片で外面は斜位から縦位の刷毛目。内面は篋なでされる。いずれも古墳時代初頭、五領期の所産。溝7出土の甕と同一個体の可能性が高いものの接合し得なかった。他に112片の破片が出土。

40は8世紀後半の須恵器坏口縁部。推定口径11.4cm。



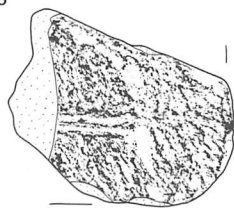
第98図 本村遺跡第94地点出土遺物 1 (1/3)

溝 1



20

溝 3



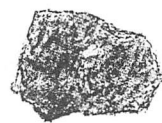
23



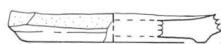
21



22



溝 6



24

溝 7



25



26



27



28



29



30



旧河川



31



32



33



34



35



36



37



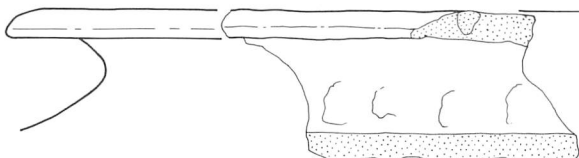
38



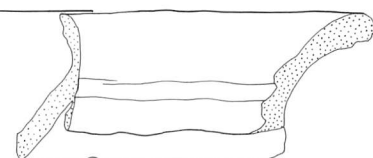
39



40



41



43



44



45



46



47



48

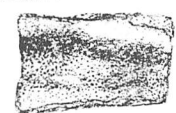


49



51

遺構外



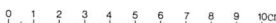
52



53



54



第99図 本村遺跡第94地点出土遺物 2 (1/3)

41は焼き締め陶器の大甕。推定口径48cm。胎土はきめが細かく、色調はにぶい黄褐色を呈し、表面はザラつく。12世紀の渥美産と思われる。

42～46は焼き締め陶器の甕で常滑産。42・43は頸部、44～46は胴部破片。43は濃緑色の自然釉がかかる。

47は焼き締め陶器の鉢口縁部。口縁部は平坦でわずかに外へ張り出す。14世紀後半の常滑産。

48は舶載の青白磁で瓶類の肩部破片と思われるが、正確な器種は不明である。ロクロ成型後、内側から外へ向かって「T」字型に突起を作り、突起部分を中心に型押しの唐草文を貼りつけている。13世紀後半。

49は鉄塊系遺物で一面錆に覆われる。

50・51は溶解炉の炉壁。表面は緑色のガラス状に溶け、小鉄塊が付着する。

【遺構外出土】52は焼き締め陶器の甕口縁部。12世紀の常滑産。53も焼き締め陶器の甕胴部破片で41と色調・胎土が類似する渥美産。54はカワラケの底部破片。

(3) まとめ

溝の新旧関係は溝2・11が最初で、溝2の埋没後溝3・4、および溝1を掘削。一部溝1が埋没後溝5を掘削するが、再び溝1を掘りなおし、中世の最後まで存続したが、16世紀代には埋没したと思われる。

旧河川は中世のある時期まで堆積と氾濫を繰り返していたが、河川へ流れ込むように溝が掘削されて以来、堆積の速度が速まり、近世には完全に埋没している。その後溝6～9が掘削された。

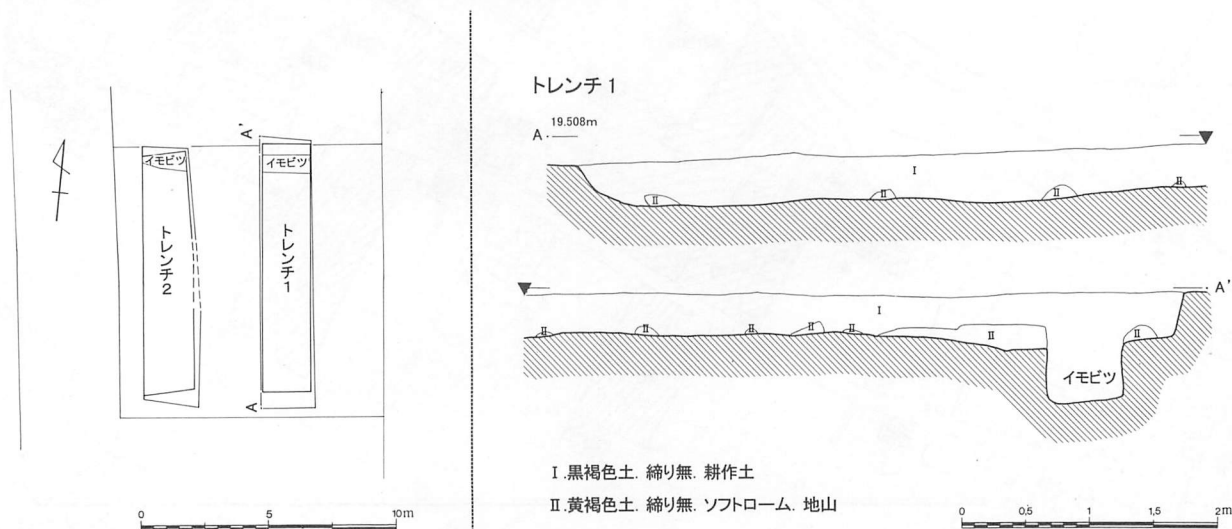
最後に旧河川の流路上には用水路が掘削されたが、区画整理に伴い用水路も廃絶され現在に至る。

11 本村遺跡第95地点

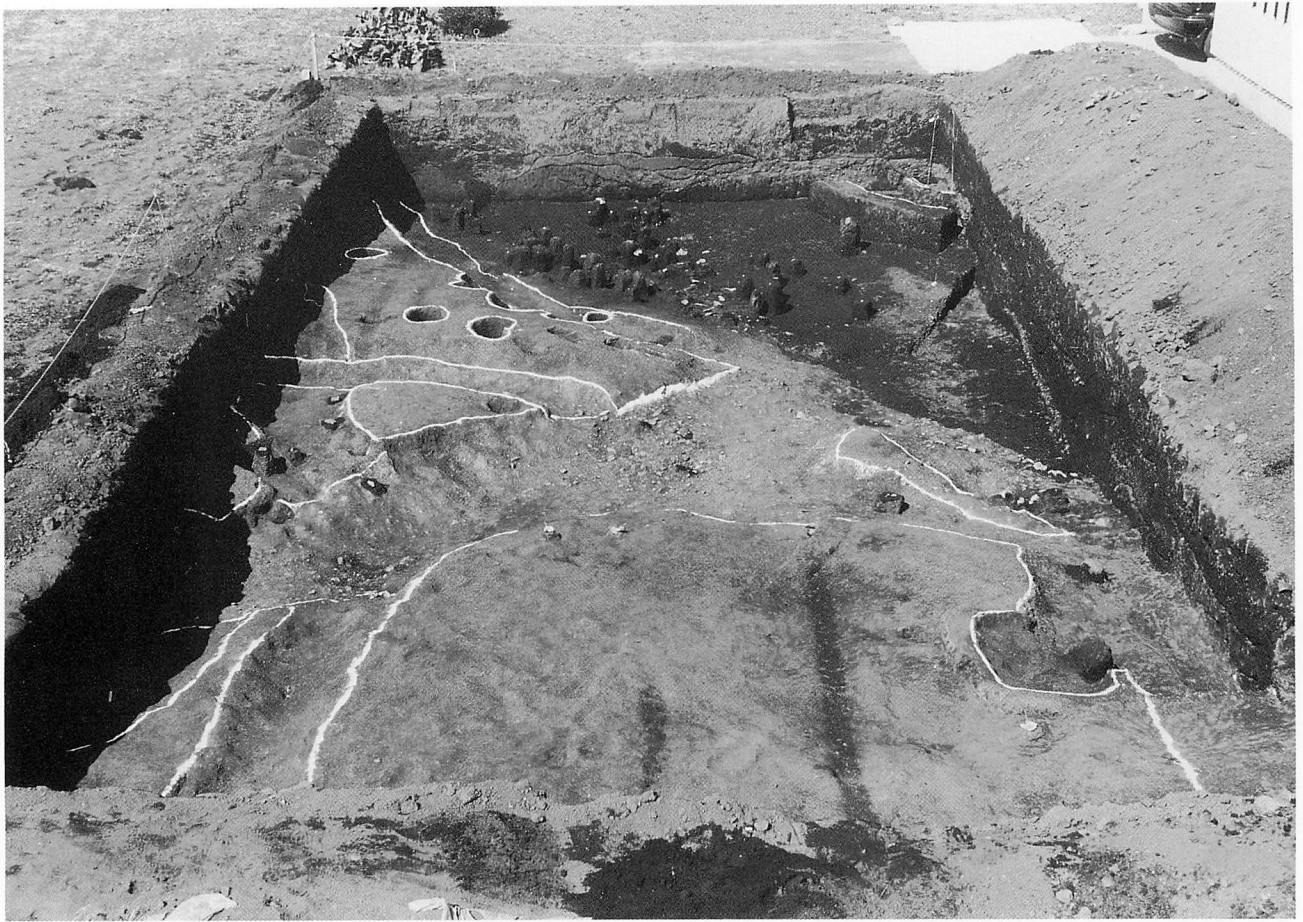
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2001年2月22日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南側に位置し、申請者と協議の結果、遺構の存在確認の試掘調査を実施した。

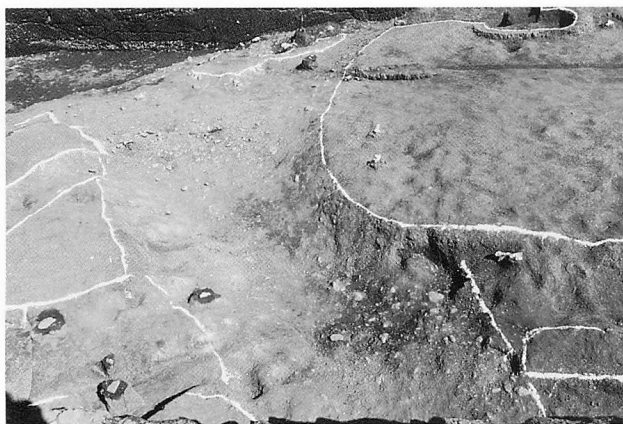
調査は幅約2mのトレンチ1本を設定し、3月6日から重機による表土除去の後、人力による表面精査を行った結果、黒色土を多数検出したので確認のため一部掘り下げたが壁の垂直なイモビツであった。その他に遺構・遺物はなかった。写真撮影・全測図測量等記録保存を行い、重機でトレンチを埋め戻し、3月9日調査を終了した。



第100図 本村遺跡第95地点調査区域図 (1/300)・土層 (1/60)



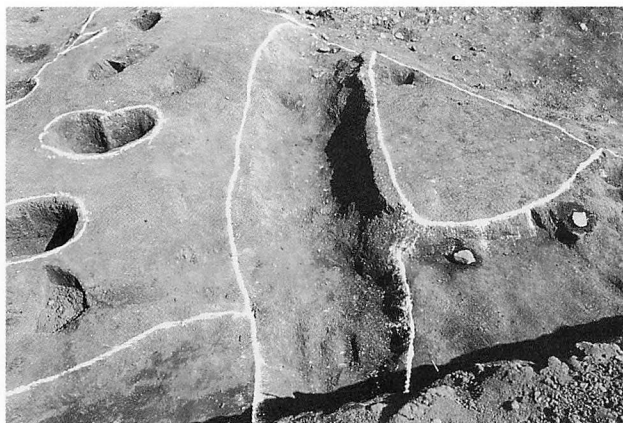
本村遺跡第94地点調査区全景



本村遺跡第94地点溝 1



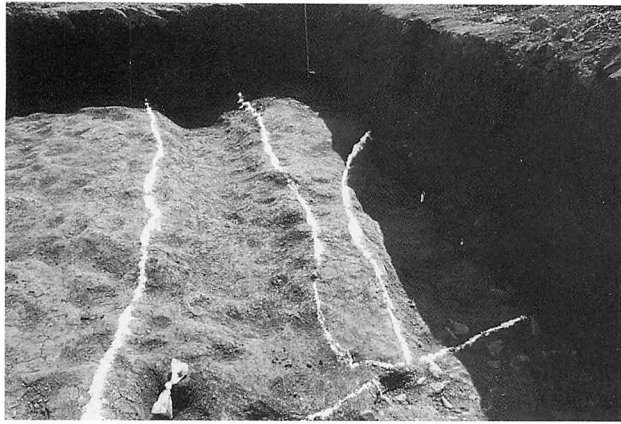
本村遺跡第94地点溝 1



本村遺跡第94地点溝 2



本村遺跡第94地点溝 3



本村遺跡第94地点溝 4・5



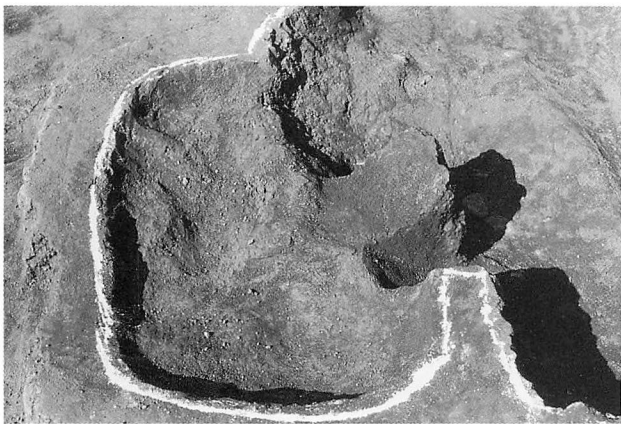
本村遺跡第94地点溝 6・7



本村遺跡第94地点溝 8・9



本村遺跡第94地点溝10



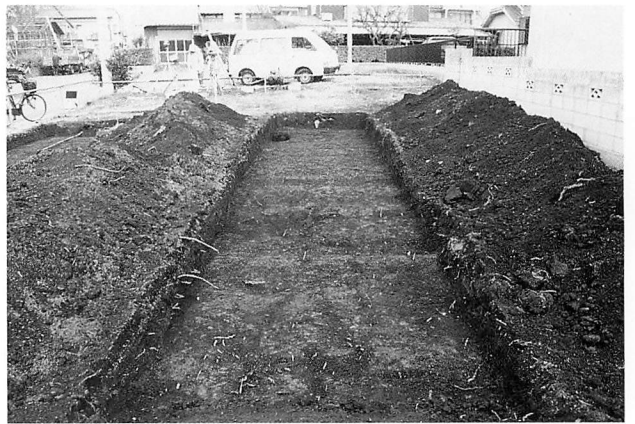
本村遺跡第94地点土坑 1



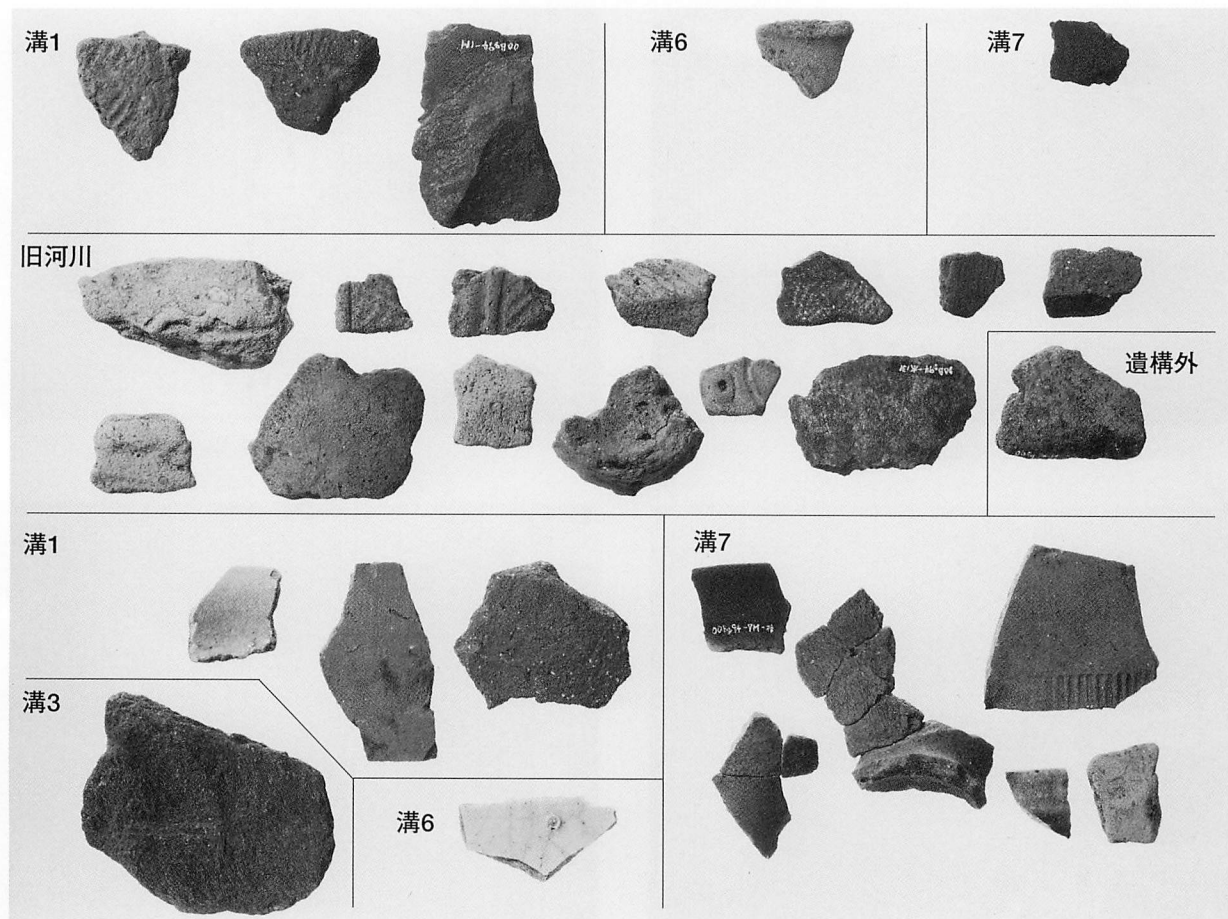
本村遺跡第94地点ピット



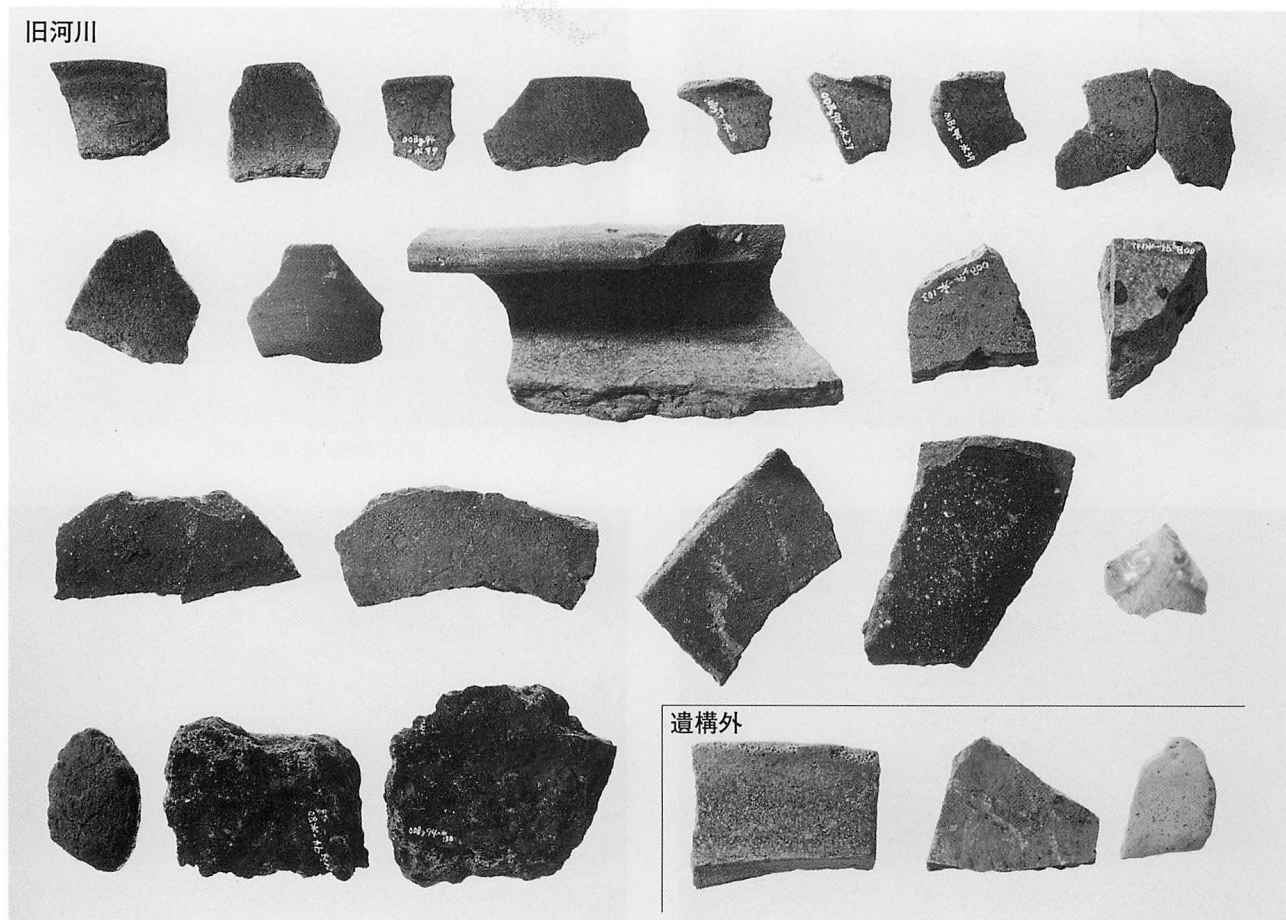
本村遺跡第94地点旧河川遺物出土状況



本村遺跡第95地点調査区全景



本村遺跡第94地点出土縄文土器、溝出土古代～中近世遺物



本村遺跡第94地点旧河川・遺構外出土古代～中近世遺物